

# 令和7年度前期学校評価アンケート集計結果

実施: 令和7年7月1日～7月7日

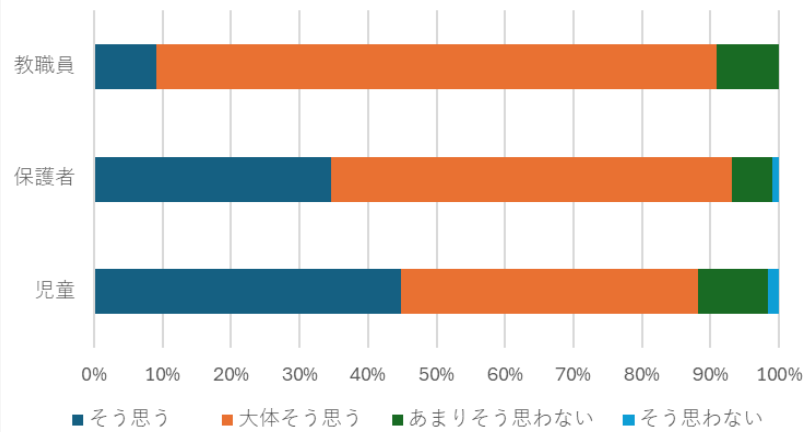
令和7年10月31日  
京都市立京極小学校  
校長 足立 素子

学校教育目標「伝統を受け継ぎ、未来をたくましく生き抜く子の育成」 ～みんながちがう それがいい～

めざす子ども像 ㊦ 興味をもって学ぶ子 ㊧ よく聞き、話し、考えを深められる子 ㊨ うんとたくさんあいさつする子 ㊩ 心も身体も元気な子 ㊪ くじけない子

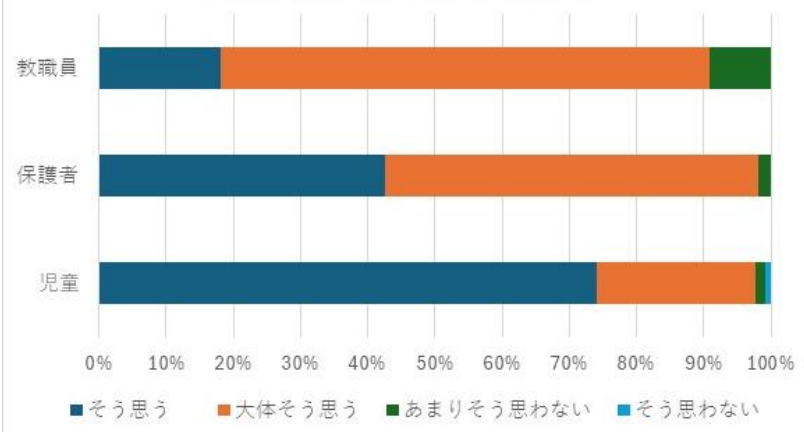
児童・保護者・教職員を対象に学校評価アンケートを行いました。ご協力ありがとうございました。

①基本的な生活習慣が身についている



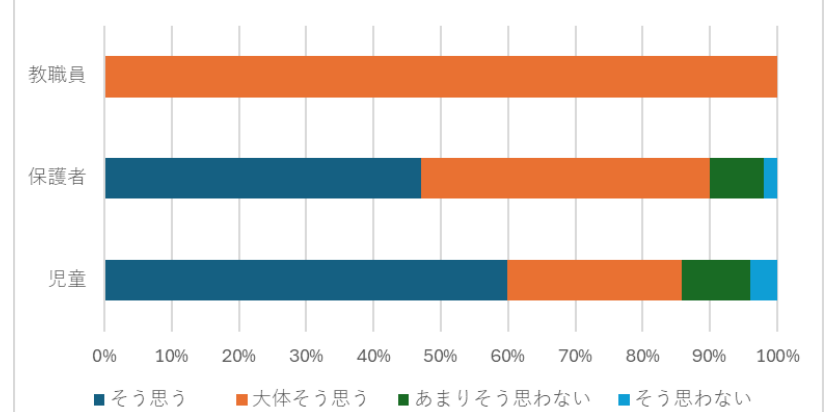
保護者、教職員共に概ね身につけていると回答しています。ただ、あまり身につけていないと回答している児童の割合が高くなっています。それには、忘れ物をしていないと自覚している児童がいると思われます。今後も学校と家庭が連携し、学習に必要なものを忘れず持ってくるよう習慣づけていきたいです。

②安全に気をつけて生活している



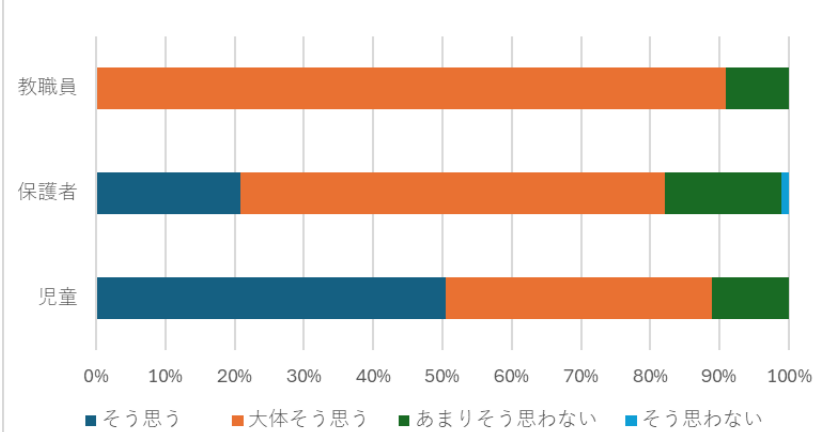
児童の「そう思う」「大体そう思う」の割合が高い結果です。休み時間の遊びや登下校の交通安全などに気をつけてすごしていると自覚している児童が多いことが分かります。今後も安全ノートの活用や避難訓練などを通じて、安全学習に取り組んでいきます。

③学校へ行くのを楽しみにしている



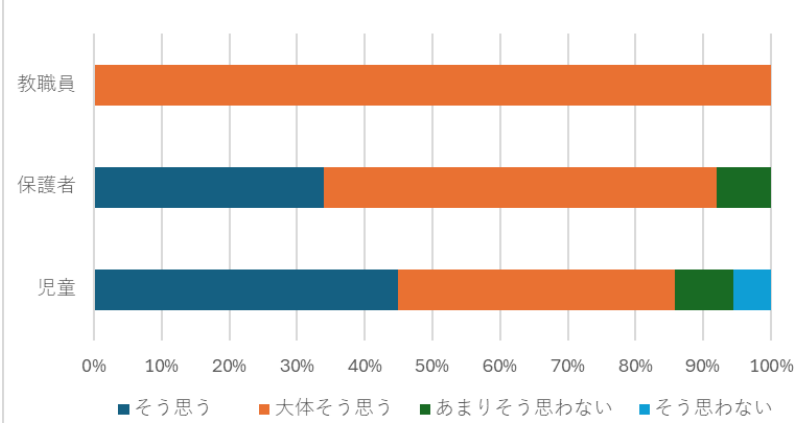
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している児童が 15%いるので、その児童たちの気持ちをひろい、話を聞いて対策をとっていくことが大切であると考えます。今後も全校児童が学校に行くのを楽しく感じられるような取組をしたり、家庭との連携を図ったりしていきます。

④人の話をしっかりと聞いている



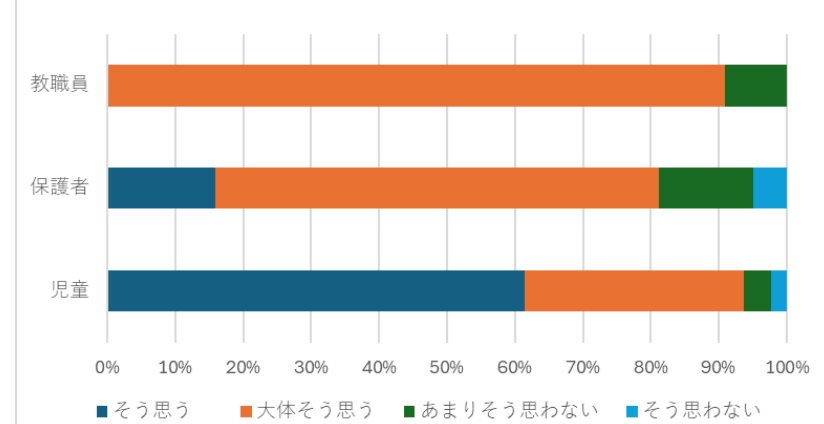
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している保護者が 20%近くおられるという結果です。人の話を聞くことは、話し手のことを大切に思うことにつながってきます。今後も、最後まで人の話が聞けるよう、日々の学校生活や学習の中で取り組んでいきます。

⑤自分の思いや考えを話している



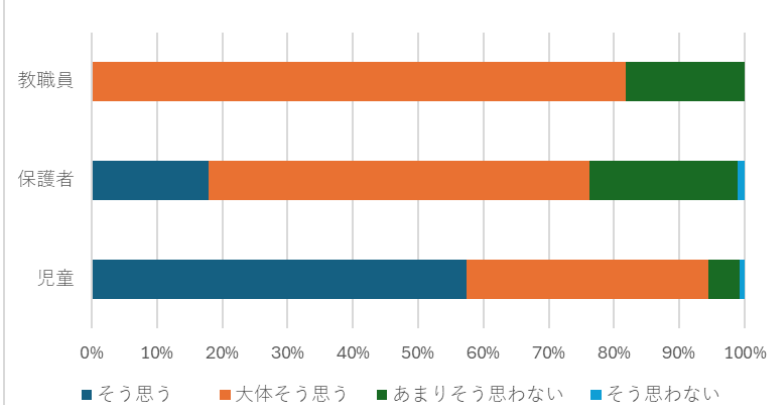
「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している児童が 15%います。高学年になるにつれてこれらの回答率が高い傾向がありました。今後も引き続き、自分の思いや考えを話しやすいように安心できる学級経営をしていきます。

⑥わかるまで学習に取り組んでいる



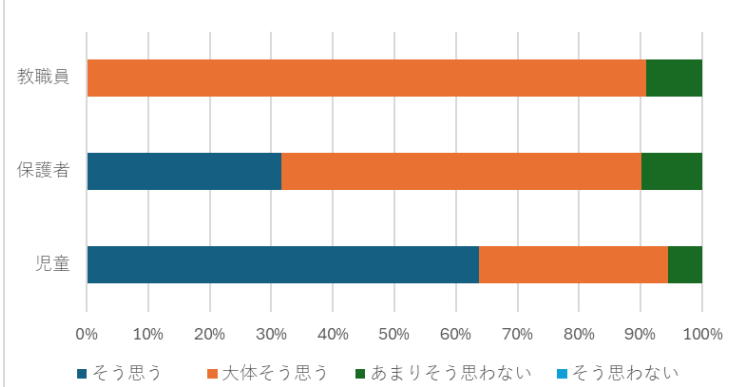
児童はわかるまで学習に取り組んでいると感じていますが、保護者は「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が高くなっています。今後も授業中はもちろん、「ふれあいタイム」などで、学習が理解できるまで支援していきます。

⑦気持ちのよいあいさつをしている



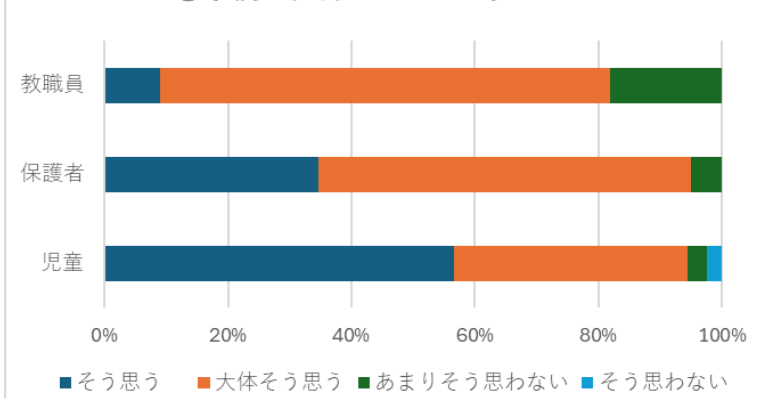
児童は概ねできていると回答しています。ただ、気持ちのよい挨拶とは、「自分から先に」「元気な声で」「笑顔で」挨拶をする姿です。夏休み明け、高学年児童を中心に「スマイル」という挨拶の合言葉の掲示物を作成しました。挨拶の輪を全校に広めていきます。

⑧自分も人も大切にする心が育っている



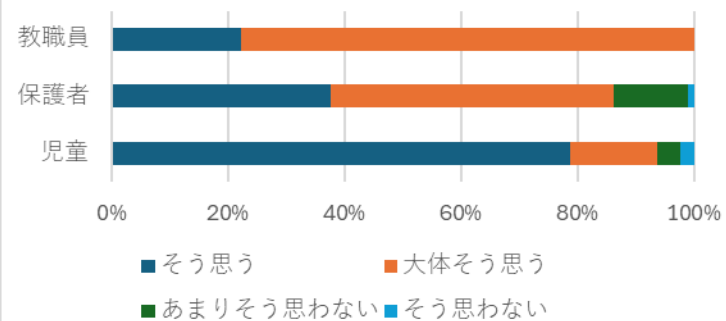
児童の「そう思う」「大体そう思う」の割合が高くなっています。引き続き、毎月一回のぼかばか朝会や人権教育、道徳などの学習を通して自分も人も大切にする心を育てていきます。

⑨学校や社会のルールを守っている



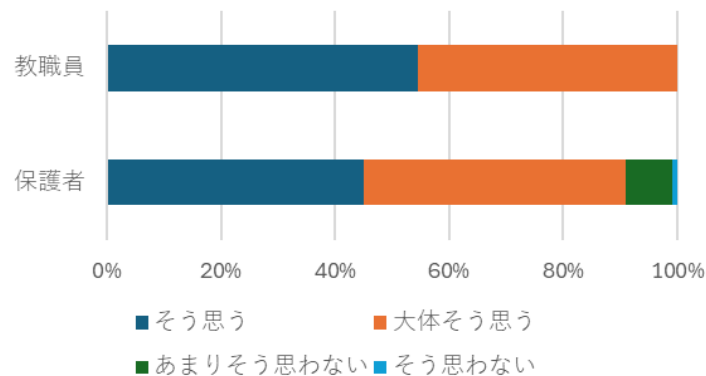
児童は概ね学校のきまりやルールを守っていると感じていることが分かります。ただ、教職員の回答は、「あまりそう思わない」の割合が高いですので、児童との意識の差が見られます。引き続き、ルールはなぜ守らないといけないのかを子どもたちと考えていきます。

⑩地域の行事や文化など地域の学習に興味をもっている



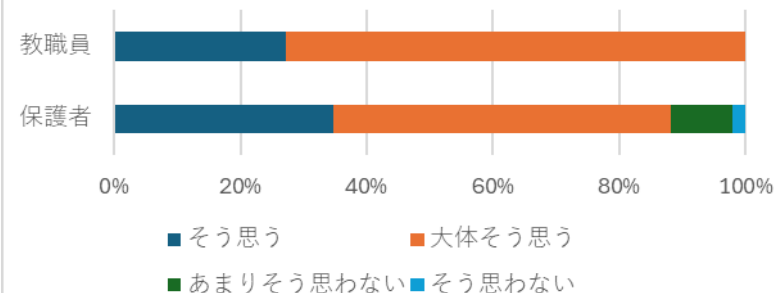
地域の行事や文化などに興味をもっている児童が多いことが分かります。低学年での生活科の昔遊びや 3 年生以上の京極学習だけでなく、子どもみこしやPTA、おやじの会主催の行事など地域の方のご協力をいただいている成果のあらわれだと思います。今後ご協力よろしくお願いします。

⑪学校は、がんばりやよいところを認めている



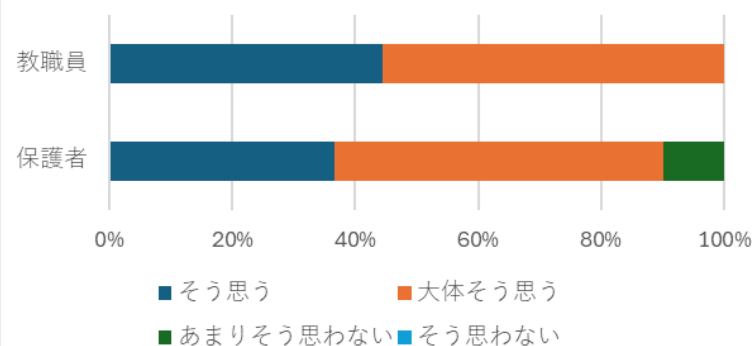
子どもたちの取り組んでいる過程を認め、ほめることで、次への意欲とつながっていくことと考えています。今年度は「よいところ見つけ」を全教職員で行い、共有していく取組を始めました。今後も、子どもたちのがんばりやよいところを認め、自信をもって取り組んでいけるようにしていきます。

⑫学校は、子どもの困りごとに気付き、話を聞いたり対応したりしている



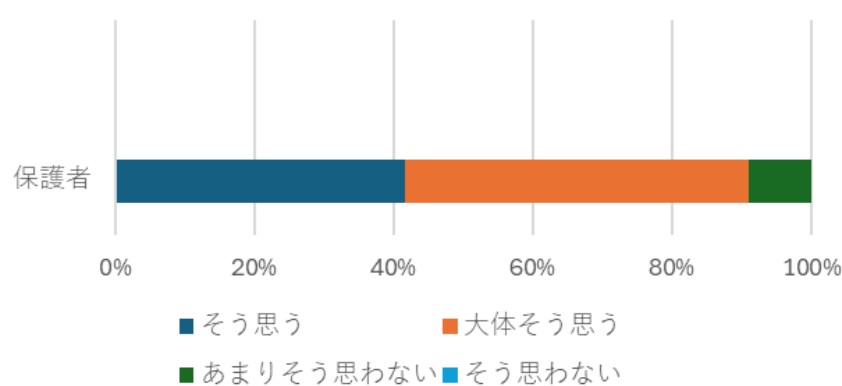
「あまりそう思わない」「そう思わない」の保護者の回答が約 10%でした。学校は、保護者から相談や要望をしやすい関係づくりを普段から行い、相談や要望があった際には、適切かつ迅速に対応し、実行していきます。

⑬学校の様子わかる



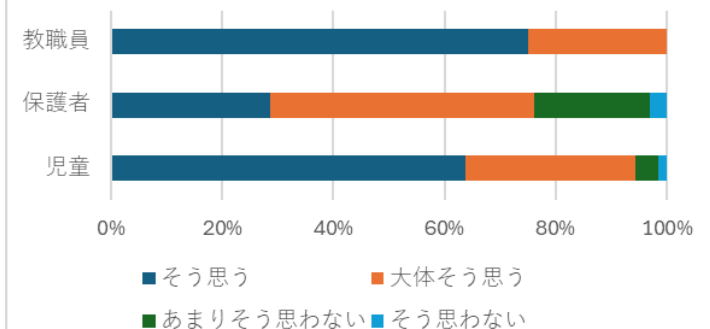
「あまりそう思わない」「そう思わない」の保護者の回答が約 10%でした。ホームページや学校だよりなどで、学習や行事の様子を伝えていますが、学年によって偏りがあるなどの課題があります。昨年度からの課題でありますので、改善するよう努力していきます。

⑭家庭では、お子さんの意欲や過程をほめている。



この質問項目は、今年度初めて取り入れたものです。ご家庭で、お子たちの意欲や過程をほめておられることが分かります。そのおかげで、子どもたちのやる気や自己肯定感が高まっていることと思います。

⑮デジタル機器の使い方のルールを決めている



「あまりそう思わない」「そう思わない」の保護者の回答が高くなっています。学校では 2 学期に4、5、6年生児童を対象に、ゲストティーチャーによる情報モラル教室を行う予定をしています。ご家庭でも時間や場所を決めたりするなどのご協力をよろしくお願いします。

自由記述欄一部抜粋【ご家庭でのお取組等】

- ・早寝早起き、朝ごはんを大切にしています。
- ・算数や漢字の宿題をする時、自分の生活例と結びつけて、学習するようになりました。例えば、健康観察の睡眠時間の計算や漢字の成り立ちや由来などを考えるようにしています。
- ・学校での出来事について話す時間を取り、気持ちを共有するようにしています。
- ・学校であったことを教えてもらう目的と漢字の復習を兼ねて交換日記を始めました。
- ・自分の野球ユニホームの洗濯を自分でするようにしています。物を大切にすることと、自分の時間を工夫して作ることを、日々、親子で声かけをし、取り組みをしています。
- ・地域や PTA の行事に積極的に参加するように誘っています。また、親が率先してそのような行事に参加するようにしています。
- ・毎日、子どもが楽しく学校に通っており、安心しております。先生方には感謝しております。
- ・授業参観させていただき、算数の授業の進め方から、理解が早い子どもには、新しい問題を考える時間にしたり、自由に自分の学習を進められたりする時間になればいいなと思いました。
- ・子ども一人一人が学習を理解できているのかを確認し、苦手科目がある子に対して、支援をしていってほしいです。

貴重なご意見をいただきありがとうございました。今後も、ご家庭と地域と学校が手を取り合って、子どもたちを育てていきたいと思ひます。下半期もどうぞよろしくお願い申し上げます。

<学校運営協議会のみなさんより>

10 月 20 日(月)に第 2 回学校運営協議会理事会を開き、前期学校評価アンケート結果をもとにご意見をいただきました。一部抜粋してまとめたものです。

- ・「人の話をしっかりと聞いている」「自分の思いや考えを話している」などの質問項目で高学年の児童の否定的な意見は出てきて当たり前だと思う。思春期を迎え、それも成長と捉えたらいいと思う。
- ・家庭の環境が変わってきて、家族の中でも、挨拶をすることがなくなってきた。学校では、挨拶をする目的を話してもらっているので、それは大事だと思う。朝の旗当番の時には子どもたちに声をかけるようにしていく。
- ・健やかな体の育成として、子どもたちの委員会活動で運動を進める取組ができていっているので続けていってほしい。
- ・地域が子どもたちの育ちの土壌であると考えている。これからも、子どもたちのために行動できるようにしていきたい。
- ・子どもたちの自己肯定感の高い低いがあるだろうが、お互いのことを認め合うことが大切だと思う。今後も学校運営協議会の方で学校全体を見ていけたらと思う。